おおさき
今昔物語
大崎・このまちの ルーツを訪ねて
その10

建立当時の東海寺は現在地とは異なり、目黒川の対岸に広がる約5万坪もの大禅林でした。

名僧沢庵が智を説き、生涯を閉じた地、大崎。

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNA（原風景）を訪ねる『大崎今昔物語』。
その第十話は、「沢庵漬け」の名の由来ともされている沢庵和尚と東海寺の話。
澄んだ心で禅に生涯を捧げ、多くの人々に慕われた沢庵、そのゆかりの地東海寺と名僧眠る大山墓地を訪ねます。
大崎駅から散歩圏内、ごく身近にあった郷土の貴重な歴史ストーリーを再発見しませんか。

沢庵が波乱に富んだ人生の晩年を過ごした東海寺と、
名僧眠る大山墓地。将軍家光が沢庵のために建立したその寺で、
質実の大切さを諭した話として伝わる『沢庵漬け』のいわれや
唯『夢』の一字を遺して往った話も、お寺と墓と共に大崎の地に残っています。

東海寺と沢庵墓地への案内図

沢庵が眠る東海寺大山墓地。その墓は時の名匠小堀遠州の設計によるものとされ、中央には、まるで沢庵漬けの重しのような自然石が置かれています。

◀大山墓地へは大崎駅から歩いて15分程。東海寺へはさらに10分程の“散歩コース”です。

沢庵宗彭頂相／東海寺所蔵
戦国時代の1573年、但馬国出石（現兵庫県豊岡市）で出石城主山名家に使える武士の子として生まれた沢庵は、戦乱の世に揉まれ、わずか10歳で出家、食べるものも無い赤貧の中で修行を積みます。やがて臨済宗総本山大徳寺の住職にまで上り詰めますが、幕府に背いたとされ出羽上山（現山形県上山市）に流罪、その後家光に邂逅するまで波乱の人生を送った禅僧でした。

徳川家光が1年間かけて建立した東海寺。写真上の古学院（左）や梵鐘（右）などの歴史的価値の高い建造物が多く、特に東海寺所蔵の文化財は11種にも及んでいます。

東海寺を舞台に始まった、高僧沢庵の晩年ストーリー

大崎駅から歩いて約25分程（北品川三丁目）の距離にある萬松山東海寺は、禅宗の名僧沢庵宗彭（たくあん そうほう）が晩年の5年間を過ごした名刹です。寛永16年（1639）、徳川三代将軍家光が深い信頼を寄せていた沢庵のために建立したお寺でした。

東海寺に迎えられた沢庵は、かって、京都の臨済宗大徳寺派の総本山「大徳寺」住職の地位にありましたが、幕府の宗教政策を批判したことから流罪の身となります。その後、徳川家光の代にようやく大赦となり再び大徳寺に戻ったものの、二条城で初めて沢庵に接見した家光はその高潔さと叡智、質実ぶりに深く心酔、その後江戸に呼び寄せ、東海寺の開山に任命したのでした。

当時の東海寺は品川の海を望み、その広さ19万㎡。紅葉の名所でもあり、豊かな自然に恵まれたこの名刹を家光は沢庵のために建立したものの、当の沢庵は権力を拒み、質実な暮らしぶりを変えることはありませんでした。沢庵漬けの名の由来ともされる大根の「貯え漬け」にまつわる沢庵ならではのストーリーも、ここ東海寺から生まれたとされています。美食を極めた家光に沢庵が東海寺の保存食だったその漬け物を“逸品料理”として奨めたところ、空腹だった家光がその素朴な味わいをいたく気に入り、その名を「貯え漬け」ではなく「沢庵漬け」とせよ、と命じたとされるこの逸話も、贅を排し質実な暮らしの大切さを将軍に諭した名僧沢庵の人となりを伝えています。

現代に語り継がれる、禅僧沢庵の哲学

沢庵は、禅や仏教だけでなく、書や和歌、茶道に剣術、兵法、さらに医学と、驚く程幅広い教養の持ち主でもありました。剣術では柳生宗矩（むねのり）との親交があったことで知られ、吉川英治の小説『宮本武蔵』の中では武蔵の師として取り上げられています。また沢庵漬けの逸話のように、禅の教えを身近なものに例えて諭す知力や、受け答えの当意即妙ぶり、話の内容も魅力的であったことから多くの人から慕われ、名だたる大名や貴族からも帰依を受けます。しかしあくまでも自らは倣りや功名を排し、生涯一禅僧に過ぎないとし、最晩年には、病の床で「亡骸（なきがら）は後の山に埋めよ、読経も法事も不可、石塔や位牌も不要」との漢文の遺言を残します。正保2年（1645）、沢庵は弟子が求める最後の教理の書も断り、ただ一字「夢」とのみ書いて息を引き取ります。戦国の世に生まれ、貧乏僧として赤貧の青年時代を生き、その後流罪の運命を辿る中でも、鋭く澄んだ禅の心であり続けた73才の生涯でした。沢庵の遺骸は、その後、東海寺に近い大山墓地に埋められ、今なお現世に「夢」を見続けるかのように、静かな眠りについています。なお、沢庵和尚の命日となる新暦の1月0日には、名僧を偲ぶ『沢庵まつり』の開催も計画中。現代でもなお根強い沢庵ファンの存在は、名僧の存在感の大きさを伝えています。

沢庵が息を引き取る間際に書いたとされる「夢」の一字

■資料提供：品川区立品川歴史館　他